

子育て期女性の就労と家事の相互健康影響: baseline data 3-

有配偶者の GHQ12-score

永谷 照男 (Teruo NAGAYA)
 名古屋市立大学
 大学院医学研究科 公衆衛生学
 近藤 康明 (Yasuaki KONDO)
 日比野 稔 (Minoru HIBINO)
 国際セントラルクリニック
 第88回日本産業衛生学会 (2015.5.15, 大阪)

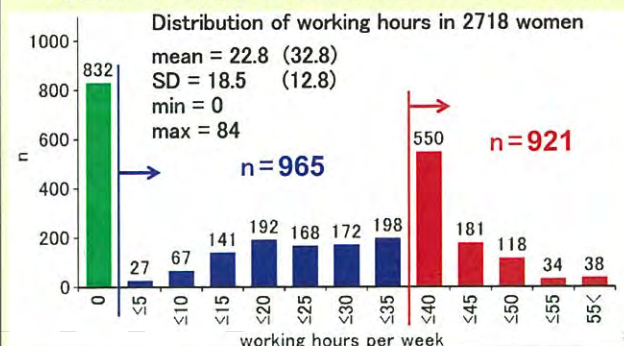
目的

最終目的は、**子育て期女性**を対象に、**就労と家事の負担**が与える健康影響の評価。
 今回は、baseline data から**有配偶者**で、**就労や子育てとGHQ12-score**との関連を示す。

対象者

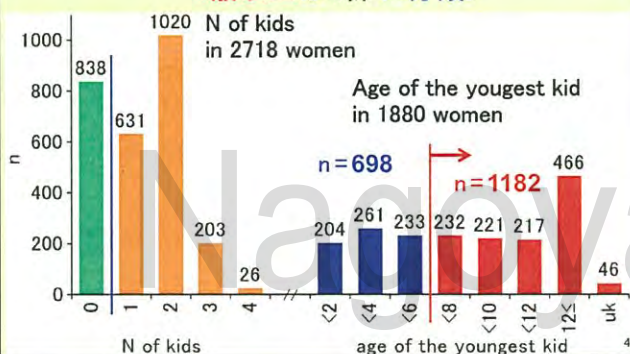
同意を得た**健診受診女性 5,737名**のうち、**25-49歳の有配偶者**から、**重複者、休職者、妊娠中、学生**を除き、**今回の調査項目に欠損のない 2,718名**、平均年齢(sd) = 39.7(5.0) 歳

就労時間: 一週の就労日数と一日の就労時間から一週の就労時間を算出。⇒ **無職、週就労時間が 35時間以下、35時間超**の3群に分類。

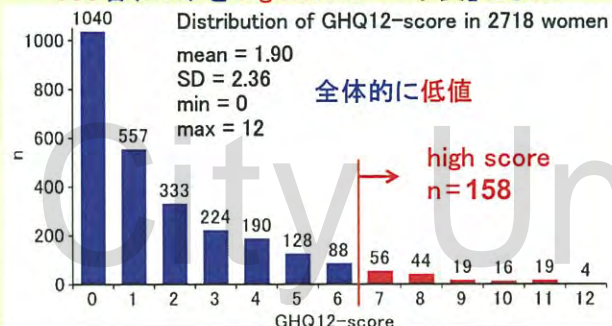


子育て: 子の数は 0-4人、平均 1.25人。

⇒ **子育てなし、末子年齢が 6歳未満、6歳以上の3群**に分類。



GHQ12-score: 質問の12項目(各4階級評価)で上位2階級への回答に1点を与え、12項目の合計点を算出。⇒ **7点(95%tile)以上の158名(5.8%)**を high score = 「不良」とした。



就労時間と子育て、各3群のnと平均年齢

就労時間	子育て / 末子年齢			計
	なし	<6 歳	6 ≤ 歳	
無職	135 38.6	345 37.2	352 42.3	832 39.5
≤35 h/w (22.8)*	202 39.1	211 37.1	552 42.8	965 40.8
35 < h/w (43.3)*	501 37.2	142 37.0	278 42.7	921 38.8
計	838 37.9	698 37.1	1182 42.6	2718 39.7

(*): 平均就労時間

交絡因子 6項目

(ANCOVA、Logistic regression analysis にすべて群変数で使用)

- 年齢 5群: 5歳間隔
- BMI 4群: 4分位、mean(sd) = 20.8(2.9) kg/m²
- 治療中疾病 2群: なし/あり, n = 2030/688
- 喫煙 3群: 非/既/現, n = 2202/318/198
- 飲酒 3群: 週アルコール量 0/≤25/25 < g/w, n = 1432/594/701
- 運動 3群: 週運動時間 0/≤100/100 < min/w, n = 1763/534/421

A: 就労時間、子育ての群別 GHQ12-score

working hours/week	n	GHQ-score, lsmean(se) adjusted for age and BMI	
		univariate *	multivariate *
none	832	1.75 (0.10)	2.01 (0.12)
≤35	965	1.80 (0.09)	2.05 (0.12)
35 <	921	2.10 (0.09) #	2.31 (0.11) #
<i>p</i> for trend		<.001	0.009
age of the youngest kid			
no kids	838	1.97 (0.09)	2.19 (0.11)
<6 years	698	1.75 (0.11)	2.01 (0.14)
6 ≤ years	1182	1.95 (0.10)	2.19 (0.12)
<i>p</i> for trend		0.801	0.974

*: adjusted for age, BMI, drinking, smoking, exercise and present disease

#: *p* < 0.05 by Dunnett's comparison with 'none' or 'no kids'

B: 就労時間、子育ての群別

OR(95% CI) for high GHQ12-score

working hours/week	high score n (%)	OR (95% CI) for high score adjusted for age and BMI	
		univariate *	multivariate *
none	47 (5.6)	1.00 (reference)	1.00 (reference)
≤35	56 (5.8)	1.02 (0.68, 1.53)	1.00 (0.67, 1.51)
35 <	55 (6.0)	1.10 (0.73, 1.65)	1.04 (0.69, 1.58)
<i>p</i> for trend		0.642	0.841
age of the youngest kid			
no kids	45 (5.4)	1.00 (reference)	1.00 (reference)
<6 years	36 (5.2)	1.01 (0.64, 1.60)	1.10 (0.69, 1.77)
6 ≤ years	77 (6.5)	1.07 (0.71, 1.62)	1.09 (0.72, 1.67)
<i>p</i> for trend		0.763	0.676

*: adjusted for age, BMI, drinking, smoking, exercise and present disease

まとめ

- 就労時間 3群(無、≤35、35 < h/w)と GHQ12-score には正の相関があった。しかし、子育て 3群と GHQ12-score には関連がなかった。
- 就労時間、子育てとも high GHQ12-score の OR と関連がなかった。
- 就労時間と子育ての GHQ12-score、high score に対する交互作用はなかった。

今後、当面 3年を目途に対象者を追跡し、**子育て期女性の就労や家事**が生活習慣や健康指標に与える中期的影響を検討する。

この研究は、

名古屋市立大学 大学院医学研究科 倫理審査委員会の承認を得ている。

三菱財団、日本健康増進財団、ヘルス・サイエンス・センター、愛知健康増進財団の**助成金**と**文科省・科学研究費**(23590805, 26460750)を用い、**国際セントラルクリニック**(名古屋市中村区、理事長: 内藤靖夫)の多くの受診者と職員の協力で実施している。

COI: none

研究経過を下記 HP に順次開示している。

<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kouei.dir/moku%20sinkou.html>